

H23.10.17

川崎 様

城

同窓会ご案内のお手紙を頂きながら 大変ご無沙汰いたし申し訳ありません。

暫く体調不良で ぐずぐずしていましたが、本日医者を訪ねて、先に受診していた健康診断の結果を聞いてきましたが、年相応の状態だとの判定でした。(数年前から 症で手術も勧められましたが、リスクもありますので現状維持です。)

私 老人になってから急に体質が変わり ひどい になりましたので のお世話にならないですむような生活を心がけています。

外食も何かトラブルが起こった場合 ないので、食事を伴う会合は golf なども含めて 総て避けるようにしています。

博多には法事で帰ることがありますので 機会があれば皆さん方にもお目にかかりたいと思います。

由緒ある工作機械が屋外展示になったのは新聞で知りましたが、100 周年事業計画中の頃、これらの機械を大切に取り扱いいただくよう大学にお願いしていたのですが結果は悪いほうになってしまいました。

屋外で使われる自動車、航空機、鉄道車両 などでも屋内展示保存が主流ですが、温度管理された室内で大切に使用される精密工作機械が屋外に置いてあるのは感覚的にもなじめません。学生食堂の隅でも良いから適切な案内表示付きで誰でも触れるように展示してもらいたかったものです。

新荘先生がおられたらこのようなおかしな展示にはならなかったと思います。

SIP のジグ中ぐり盤は 戦前の世界最高のもので 東京オリンピックより前の頃に 私はこの機械を造っている スイスの工場を見てきました。 その他にも屋外展示してあるかと思いますが、開学当時に設置された アリカ、ツール、ワーク 製の機械は歴史的にも貴重な物です、この ATW 社は

九州工大の SIP は S/N 416 で京都大学の同じ機械（多分大阪造兵廠から疎開工場へ移設されていたものと思いますが）は少し新しく S/N 643 です。京大で、明治 36 年頃に造られたのが造りの機械工場を平成の時代になって解体する時に、この機械を貰い受けようと思いましたが、新工場の一番奥に据付けて大切に扱う事になり譲ってもらえませんでした。

ベルン工科大学では 正面入口から入ったガラス張りの回廊に沿って古い工作機械がたくさん展示してあり 羨ましい姿です。

さて送っていただきました葉書の copy は私が書いたのかも知りませんが、蒲田のスタッフになっていますので新莊先生にお願いして投函してもらったと思います（昭 34. 3. 16 は月曜日）。この時の写真を探しましたが見つかりませんので、前年の OB 会（昭 33.02.09）の写真をお届けします。前列右から 松村氏、先生、溝口氏、後列右から 島氏、笠原氏、古場氏と私です。この寄せ書きに先生が書いておられるマスターを借りて乗っていたときの写真を同封しました、この後間もなく 先生はクラウンに買い換えられました。

私は シルバーピジョンと書いていますが、この スカーターは先生から譲っていただいた物です。

私は 翌年最初の子供が生まれたときに中古の ダットソンを買いました。

退職後は安全をお金で買えるならと思ってベツの E クラスを買いました（簡素なデザイン、新構想のプラットフォーム、日本初のサイドエアバッグ付き市販車などで）。2 年前の写真と同封しました。

この車に 15 年乗りましたが タイヤ、バッテリー、ワイパーのゴム以外は交換することなくランニングコストは低く、立派に走りました。

未だ新車の輝きもありましたが、これから先の自動車との付き合いを予測して早目に次の車と
思って、この夏に（子供たちが訪ねて来たときに気軽にハンドルをにぎってもらえるように）
1 ランク下の小さい C クラスに買い直しました。

今度の車には これから 15 年もハンドルをにぎる事は無いと思いますが。

たまたま 明日この古い車を引き取りに来ると言う日に、廣田さんから 仕事で名古屋に来たと電話があり、近くの駅まで来ていただいてお目にかかりました。この時が ラスト ランになりました。

私は昭和 25 年以来 自動車技術会の会員ですが、今月号の切り抜きをお届けします。九州工大でも学生フォーミュラに出ているようですが、ものづくりの楽しさ難しさなどが書いてありますので。

この手紙が OB 会に間に合えば 同世代の皆さんに よろしくお伝えください。

（写真は 袖を探さずに プリンターで copy しましたので 周囲が切れて色上がりも悪くなっています）

